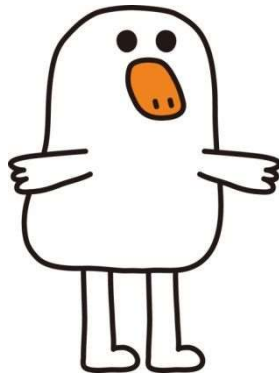


令和4年度 第2回
誰もが共に暮らすための市民会議
資料

令和4年12月20日（火曜日） 9：55～
与野本町コミュニティセンター 多目的ルーム（大）



ノーマくん

ノーマライゼーション条例

PRキャラクター

さいたま市保健福祉局福祉部障害政策課

第2回誰もが共に暮らすための市民会議 次第

日時：令和4年12月20日（火曜日）9時55分から11時40分まで

会場：与野本町コミュニティセンター 多目的ルーム（大）

1 開 会（9時55分から11時40分まで）

- ・事務局挨拶
- ・座長挨拶
- ・本日のテーマの説明

2 議 題

- ・グループ討議（班毎の話し合い）

（10時10分から11時00分まで）

○自己紹介

○「障害のある方にとっての困りごと事例集～コロナ禍で抱える困難と合理的配慮～」の今後の周知方法・周知先について

○企業に合理的配慮を求めるとしたら（事例別検討）について

（15間休憩）

- ・全体発表（11時15分から11時35分まで）

3 閉 会（11時35分から11時40分まで）

- ・座長まとめ
- ・事務局報告事項

誰もが共に暮らすための市民会議の手引き

1. 目的:

- ①誰もが共に暮らせる地域社会を目指し、市民が主役となって話し合い、意見交換する場をつくる。
- ②障害のある人、家族、関係者や市民が集まることで、コミュニケーションの輪をつくる。
- ③市民の声を政策に反映させる。

2. 当日の話し合いのすすめ方:

みんなが話し合いに参加できるよう、グループに分けて話し合いを行います。

- ① 1グループ4～6名くらいで話し合いをし、意見を出し合います。
- ②各グループに会議進行役をおきます。
- ③書記やタイムキーパー(時計係)は事務局が行います。
- ④各グループの会議進行役と参加者は、みんなが話しやすい雰囲気づくりを心がけます。

3. 話し合いルール:

- ①話すときは、会議進行役の呼びかけによって、話し始めてください。
- ②みなさんが発言できるよう、1回あたり3分くらいを目安として発言してください。ただし、障害の特性にあわせて、お話される時に特別な配慮が必要な方は、5分くらいを目安とします。
- ③他の人が話しているときは、途中でさえぎらず、最後まで聞きましょう。
- ④話し合いの相手を攻撃したりせず、意見として受け止めてください。少人数意見を大切にしましょう。
- ⑤特定の個人や団体の悪口や傷つけるような発言はしないようにしましょう。
- ⑥みんなが発言しやすいような雰囲気になるよう心がけてください。また、限られた人だけが発言するのではなく、発言したい人みんなが発言できるよう気を配りましょう。
- ⑦個人的な内容についての発言は、個人情報やプライバシーを守るため、会の後に、個人がわかる形で、他の人に話すことは禁止します。

※ みなさんで、よりよい話し合いをするために、御協力をお願いします。

話し合いを続けることが不可能と判断した場合は、話し合いを中止することもあります。

1. 資料一覧

(1) 送付資料

資料1	令和4年度第2回誰もが共に暮らすための市民会議資料
資料2	「障害のある方にとっての困りごと事例集～コロナ禍で抱える困難と合理的配慮～」の今後の周知方法・周知先について
資料3	企業に合理的配慮を求めるとしたら（事例別検討）について
参考資料1	令和4年度第1回誰もが共に暮らすための市民会議 議事録
参考資料2	令和4年度第1回誰もが共に暮らすための市民会議アンケート結果
参考資料3	障害のある方にとっての困りごと事例集～コロナ禍で抱える困難と合理的配慮～
意見シート	令和4年度第2回誰もが共に暮らすための市民会議 意見シート
アンケート	令和4年度第2回誰もが共に暮らすための市民会議アンケート用紙

2. 議題

- 「障害のある方にとっての困りごと事例集～コロナ禍で抱える困難と合理的配慮～」の今後の周知方法・周知先について
- 企業に合理的配慮を求めるとしたら（事例別検討）について

3. 書面会議の手順

(1) 資料の確認（資料2、資料3、参考資料3を御参照ください。）

(2) 意見シートの作成

- ・御提出いただくテーマは次のとおりです。御自身の考えをまとめ、意見シートを作成してください。

<テーマ>

- ・「障害のある方にとっての困りごと事例集～コロナ禍で抱える困難と合理的配慮～」の今後の周知方法・周知先について（資料2、参考資料3参照）
- ・企業に合理的配慮を求めるとしたら（事例別検討）について（資料3参照）
- ・その他、御意見

(3) 意見シートの提出

以下のいずれかの方法で提出してください。

- ① 「意見シート」を、郵便、ファックス又はメールで送る。
- ② さいたま市ホームページの回答フォームから送る。

(<https://www.city.saitama.jp/enquete/e001872.html>)



【回答期間】

資料到着～令和4年12月23日（金曜日）

【意見シート提出先】（郵便、ファックス又はメールの場合）

〒330-9588

さいたま市浦和区常盤6-4-4

さいたま市保健福祉局福祉部障害政策課ノーマライゼーション推進係

電話：048-829-1306

FAX：048-829-1981

メール：shogai-seisaku@city.saitama.lg.jp

「障害のある方にとっての困りごと事例集～コロナ禍で抱える困難と合理的配慮～」 の周知方法について

○障害のある方にとっての困りごと事例集について

〈作成目的〉

障害のある方やその御家族、支援者の方々が感じるコロナ禍での困りごとについて共有し、困りごとに対する配慮や心配りに気付くためのヒントとして活用いただくものです。

〈掲載内容〉

コロナ禍で感じた困りごとについて、以下の点を掲載しています。

- ・多くの方から寄せられた困りごと
- ・困りごとに対する合理的配慮の好事例集
- ・市民の方々から寄せられた困りごと

○完成報告

「障害のある方にとっての困りごと事例集～コロナ禍で抱える困難と合理的配慮～」の作成にあたり、令和2年度第2、3回、令和3年度第1、3回誰もが共に暮らすための市民会議において、数多くの御意見をいただきました。いただいた御意見を基に、この事例集を作成しましたので、全体版につきましては後ほど各自御参照ください。

○これまでに行った周知について

- ・さいたま市ホームページへの掲載
- ・さいたま市 Twitter への掲載
- ・庁内電子掲示板への掲載
- ・庁内各所属へデータの送付

○本日の話し合いについて

本日御参加の皆様には、これまで行った周知以外に効果的だと考えられる周知先、周知方法について話し合いをしていただきます。

○今後について

本日の話し合いで出た御意見を基に、こんな配慮をしてもらえたら嬉しい事例集の作成またはホームページへの掲載を現在検討しているところです。詳細につきましては、次回第3回誰もが共に暮らすための市民会議において、お知らせいたします。

企業に合理的配慮を求めるとしたら（事例別検討）について

令和3年6月4日に、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の一部を改正する法律」が公布されました。この法律は、公布の日から起算して3年を超えない範囲内において政令で定める日から施行することとされています。

上記法律が改正されたことにより、これまで民間事業者は、雇用分野を除き努力義務とされていた合理的配慮が、国・地方公共団体等と同様に法的義務へと改められます。

この改正により、民間事業者から合理的配慮についてのお問い合わせを多くいただくことが予想されます。

そこで本日皆さんには、以下の場面別に企業に合理的配慮を求めるとしたらどのようなことが考えられるかグループごとに話し合ってください。以下記載の場面の中からグループごとにいくつかの場面を選び、例を参考に、その場面ではどのような困りごとが生じるか、またその困りごとに対して企業等に配慮を求めるとしたらどのようなことが考えられるか考えてみましょう。

※困りごとはそれぞれです。全ての人に同じ対応をすればいいというものではありません。本人と対話し、本人に合わせた配慮を行うことが大前提ですが、配慮例の1つとしてお考えいただくものです。

〈場面①〉店舗（スーパー、飲食店、理美容院等）

例）聴覚に障害があるため、マスクをしていると何を言っているのか分からない。

→筆談での対応を希望する場合に使用できる指差しボードを置いておく。

例）普段車いすに乗っており、高いものをとることが難しい。近くに店員がいれば良いが、いない場合にどうしたら良いか分からない。

→困りごとがあった時にはここに来てくださいという案内を出入口につける。

〈場面②〉職場

例）発達障害があり、口頭で指示を出されても順序立てが難しかったり、締め切りを守ることが^{むずか}しい。

→紙で指示をもらい、順序についても作業を始める前に一緒に考える時間を設けてもらう。

例) 同じ姿勢で何時間も作業をすることが難しい。

→一定の時間が経過したら休憩をもらえるように上司と調整をする。

〈場面③〉教育

例) 授業中に大勢の中だと落ち着いて授業を受けることが難しいことがある。

→担任の先生等に相談し、クールダウンできる場所を確保してもらう。

例) 学校で定期健診があると、次に何が起きるのか分からず不安になってしまう。

→〇時～〇〇をします。〇〇の後は〇時～〇〇をします。等先の見通しが立てられるように視覚的に順序を示してもらう。

※そのほか、グループで話し合いたい場面があればその場面について、困りごととその困りごとに対して企業に求める配慮について話し合ってみましょう。



令和4年度第1回誰もが共に暮らすための市民会議主な意見について



令和4年度第1回誰もが共に暮らすための市民会議のテーマとしました、「令和3年度障害者総合支援計画の達成状況等について」及び「その他の御意見」について、多くの御意見をありがとうございました。主な意見を以下にまとめましたので、御確認ください。

なお、いただいた全ての御意見については、「参考資料1 令和4年度第1回誰もが共に暮らすための市民会議議事録」に掲載しておりますので、後ほど御参照ください。

○「令和3年度達成状況報告書を受けて、感想や課題と感ずることについて」

- ・令和3年度状況報告を受けての感想は、全体19件中意見表明が大半できた方が15件と多数であったので、より良い市政に生かせるチャンスがあってよかったと思う。
- ・3か年計画の初年度がコロナ禍で事業が進まなかった分を、2022、23年で実施していただきたいです。
- ・このコロナ禍の中でも、事業番号9など、合理的配慮の好事例の収集が実施できたことは良かったと思います。
- ・37ページ、事業番号52。当事者の声を反映したものになっているかという研修の室について気になる。
- ・事業番号1、2について、配布数は分かるが、その配布された方の理解度など効果(結果)がわかるといい。
- ・不在者投票に行った時、コミュニケーションボードの準備がなかった。突然行っても大丈夫なようにコミュニケーションボードを用意しておいてほしい。
- ・施設では、職員が公約に目を通して、障害者に分かりやすい表等にする。その表を見て判断できるといいなと思う。
- ・さいたま市のホームページは分かりにくい。
- ・令和2年度と3年度で目標が下方修正されていたり、成果指標が変化しているものがあり、それで評価が上がっている。目標や成果指標が変わったのであればその理由も分かると良い。
- ・多くの事業で実感と評価に乖離を感じる。

○「その他御意見」について

- ・コロナ禍で多くの人の集まる行事の中止があり、事業の実施ができなかったことは残念でした。

ワークシート

令和4年度第2回誰もが共に暮らすための市民会議 ワークシート

令和4年度第2回誰もが共に暮らすための市民会議においては、「障害のある方にとっての困りごと事例集～コロナ禍で抱える困難と合理的配慮～」について、この事例集の「効果的な周知方法・周知先」及び事例集に掲載されている事例に対して、「企業に配慮を求めるとしたらどのような対応が好ましいか」の2つを議題とします。資料2「「障害のある方にとっての困りごと事例集～コロナ禍で抱える困難と合理的配慮～」の今後の周知方法・周知先について」、資料3「企業に合理的配慮を求めるとしたら（事例別検討）」を参考に、それぞれ意見を出し合ってください。

＜資料2を見て、疑問に思ったこと、課題に思うこと、皆で話したいこと等を書き出してみましょう。＞



＜資料3を見て、疑問に思ったこと、課題に思うこと、皆で話したいこと等を書き出してみましょう。＞

※対応するページ数と意見を一緒に書き出しておくと、発表の時に便利です。

※このシートは提出しません。意見を言ったり、意見シートを作成するための補助として使用するのために書き出してください。